発行所　新津市役所
発行人　新津市役所　総務企画課
電話　大代表（2）2111番
印刷所　新潟日報事業社
毎月一回発行

人口のうごき
（昭和46年7月1日現在）

人口	57,477
世帯数	13,400

（6月中）

出生	87	死亡	32
婚姻	35	離婚	3
転入	112	転出	139
転居	107	世帯主変更	27

都市下水道工事　来年度分を繰り上げ実施

たん水解消に全力

鉱盛橋（柄目木）架替えなどの請願も採択

六月定例市議会

去る六月十日から会期を二十日間として開会された六月定例市議会で市長は、たん水解消に来年度実施予定の下水道工事（勝山医院前まで）を、今年度に繰り上げて実施するため関係各省と協議し、努力することを表明しましたが、このほどその目途がつき、今年度中に工事が着手される見通しとなりました。それでは今議会の審議事項の主なものについて次によりお知らせします。

二十九日の議会最終日には人事案件二件、条例等の一部改正および四十六年度一般会計補正予算など十件、請願、陳情四件が議決されました。

◇人事案件
これは市公平委員会委員の任期に伴うもので斎藤降二氏（田家三）が再任され、同じく委員の辞任に伴う後任の選任では荒木条作氏（柄目木）が再任されました。

◇条例の一部改正
市税の一部改正並びに新津市入湯税の一部を改正する条例（別掲）で、これは法の改正に伴うものです。

このほか新津市国保条例の一部を改正する条例では、被保険者が出産した時、その保険者の属する世帯の世帯主に対して助産費が五千円であったものが一万円に改正

◇市営土地改良事業
大安寺の樋管および七日町、飯柳、大関の水路で五百二十万二千円の事業および事業費を議決

◇市道の認定
秋葉地内福対協の団地で幅員四メートル延長七百四十八メートルを認定

◇一般会計補正予算
歳入、歳出それぞれに六千六百七十万六千円が追加され、総額で十八億一千三百七十万六千円となりました。歳出の主なものは次のとおりです。

一般管理費（市庁舎改装工事費追加分）　八〇万円
ごみ処理費（旧炉の修繕料）　一三五万七千円
し尿処理費（破砕機取り付け工事など）　四一七万四千円
稲作転換対策事業費（畑地造成工事ほか）　一、六五六万一千円
土木費（土木橋りょう費や測滑、土留工事ほか）　二、九一四万二千円
都市計画費（下水道基本調査計画などの委託料）　九〇〇万円

◇請願、陳情
▼国鉄工場の再編成に伴う要望書の提出について
▼道路の拡幅について（金屋）
▼町内排水整備並びに水路修理方について（山谷町一丁目）
▼鉱盛橋架替えについて（柄目木ほか）

以上四件が採択されました。

長生館・新津温泉に

入湯税を課税免除

老人対策の一環で

市入湯税の条例が六月議会で一部改正され、この七月一日から次のとおり改められました。

従来の入湯税は、鉱泉浴場における入湯客から一人一日につき二十円が徴収されていましたが、こんどの改正で四十円に改められました。この入湯税は、地方税法の規定に基づき環境衛生施設、そのほか観光施設の整備に要する費用にあてるため定められているもので

この改正に当たっては今まで入湯税を徴収していた「長生館」、「新津温泉」の両浴場を、七月一日から老人対策の一環として一般公衆浴場と同じく入湯税を課税免除することになり、市内で入湯税の徴収する施設は、鉱泉浴場を有する割烹旅館だけになりました。

能代川分流特別委員会を設置

去る六月議会で能代川の治水のため、分流および改修促進に関する調査審議の推進をはかろうと設置が決められ、議長から十名の委員が指名されました。この第一回目の委員会は、七月十二日に開かれ、委員長に灰野六衛氏、副委員長に石井一芳氏がそれぞれ互選により選任されました。委員名は次のとおりです。

灰野　六衛　　石井　一芳
早川　統通　　瀬倉　喪
渡辺　議　　斎藤　利夫
伊藤　文男　　山口　富造
五十嵐三郎　　荒木　健吾

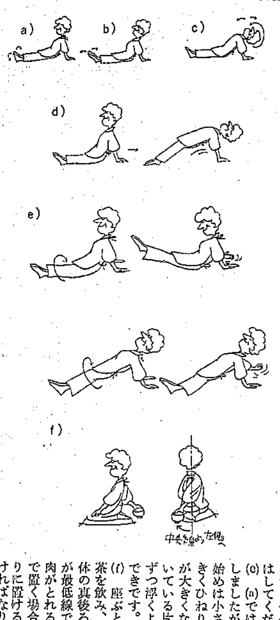
体力つくり紙上紹介

家庭の主婦のために

ママさんトレーニング

＜その3＞

一休みした　ときする運動



仕事休みというとオーバーかも知れませんが、一日の内少なくとも二～三回は小休止の時間があるはずです。腰をおろし両足を前に投げだした姿勢のままで結構ですから次の運動をしてください。

(a) 足首だけを左右にゆっくり、強くまげる。
(b) つま先を強く伸ばす。
(c) 手を床について、ゆっくり、大きく首を回わす。また、前・後にまげる。
(d) 腰をあげてなるべく体を一直線にする。このときは全身に力が入ります。五つ数えたら力を抜いて元の楽な姿勢に戻ります。一休みごとに一回はしてください。
(e) (a)では足首だけ動かしましたが、腰を中心に始めは小さく、次第に大きくひねります。ひねりが大きくなるにつれ、付いている片方の手が少しずつ浮くようになれば上できです。
(f) 座ぶとんに座ってお茶を飲み、空の茶わんを体の真後ろに置く。これが最低線で、段々腰の筋肉がとれるにつれ、右手で置く場合は背中の左寄りに置けるようにならなければなりません。

市長雑感

〝威あってたけからず〟

志田保

久しくみなかったホタルの姿がかいまみられるようになった。小さいこどもも逆に説明してもピーンとこないのか、歌はよく知っているが実物はほとんど知らないという。

学研辞典をみるとホタル科に属するコン虫の総称で、日本で発光するホタルは、ゲンジボタル、ヘイケボタル、ヒメボタルの三種類でホタルの光は発光物質ルシフェリンが酵素ルシフェラーゼによって酸化されて発光するもので熱を伴わないと記されている。

かつて夕食のあとゆかたがけでホタル狩りを楽しんだなつかしい想い出をおおかたの人はおもちだろうと思う。

生活のテンポが急速にかわり家族でこうした時間がもてなくなったこともあろうが、こどもとチャンネル争いをする時間があったらひとつでかけてみる気を起こしては、風情もあり、またこども達も科学する心を自然に養うこともできよう。いつも帰宅の遅いパパの点数もこれでぐーんと挽回も可能、一日中仕事に追われ疲れて帰宅する。とにかく休息をしたい「なにをこのんで」と思うだろうが、そこはそこ、ぐっとこらえる雅量がほしい。

自家自営、サラリーマンで共働き、主婦業とそれぞれの家庭の差はあろうが、ふんぱつして家庭サービスに徹しては、「ホタル狩りを全家庭で」などとはいわないが、いっしょに過ごすこうした時間は貴重だろう、俺（パパ）の世界には絶対に入りこませない。したがってこどももやママの世界はノータッチなどという理くつはとおらない。

「威あってたけからず」という言葉がある。やさしさを内に秘めたよきパパこそオーバーな表現だが「男」といわれるのだろう。わが家は自分だけの城ではない。一工夫も二工夫もこらして生活をエンジョイしてこそ楽しさもある。ぶ然たる表情で食卓にすわる全く芸のない所作だろう。上気嫌で帰宅した昨夜のことを思えばこれしきのことできないわけはない。

投票率は六五・五九%

参議院選挙結果

去る六月二十七日行なわれた当市での参議院議員選挙の結果は次のとおりでした。

有権者数

男	一八、〇〇九人
女	二〇、四四六人
計	三八、四五五人

投票者数

男	一二、四四八人
女	一二、七七五人
計	二五、二二三人

投票率

男	六九・一二%
女	六二・四八%
計	六五・五九%

得票状況

杉山善太郎（社）	八、九三七票
伊藤　千穂（共）	二、八一七票
佐藤　隆（自）	一二、一〇三票

（全国区二十位まで）

岡本　悟（自）	二、七六二票
塚田　大願（共）	二、一三一票
楠　正俊（自）	一、四〇八票
望月　優子（社）	一、三九三票
田　英夫（社）	一、三〇一票
伊部まこと（社）	一、二六三票
宮崎　正義（公）	一、一三〇票
柴田利右ェ門（民）	八八三票
梶木　又三（自）	七八三票
野々山一三（社）	七一七票
鹿島　俊雄（自）	六六四票
安西　愛子（自）	六五六票
山崎　昇（社）	六二〇票
山本茂一郎（自）	四七四票
徳永　正利（自）	四一九票
青木　一男（自）	四一八票
野上　元（社）	四一六票
中村　利次（民）	三九五票
一竜斎テイホー（自）	三八五票
山内　一郎（自）	三四〇票

無料法律相談所を開設

次により〝無料法律相談所〟が開設されます。希望者は早めに市民課までお申し込みください。
日時＝八月九日午前十時
会場＝日宝町記念公会堂

親子キャンプと社会勉強のつどい
親と子でお気軽にご参加ください

市民の日常生活に直結している市政を理解してもらい、また、野外活動を通した生活規律、さらに水泳指導から救急法の実際まで、子どもたちの社会科、スポーツの勉強をかねて夏休みの一日を有意義に、楽しく過ごしてもらうため、市では次により〝親子キャンプと社会勉強のつどい〟を計画いたしました。お気軽にご参加ください。

実施事業
◇親と子（小学生以上）の野外活動（キャンプ）と市長を囲む懇談会
◇市内の主要公共施設めぐり（貸し切りバスで秋葉PCタンク所―ゴミ焼却場およびし尿処理場―満願寺浄水場―市役所などを見学します）
◇水泳教室と事故防止（市営プールで救急法など先生から指導を受けます）

期日　八月七日（土）八月八日（日）一泊二日（秋葉山でキャンプ）

募集人員　親と子（小学生以上）三十組で定員になり次第締め切ります。

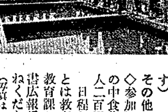
集合時間　七日の午後四時まで平和塔前（雨天の場合は五峰閣を利用します）

申し込み締め切り日　八月五日（木）まで教育委員会社会教育課か総務企画課文書広報係へ申し込みください

参加者の用意するもの
◇親と子で米二合程度（第一日目の夕食分）
◇カレーライスをつくるので、それに必要な野菜類を少々
◇水泳パンツ、タオル着がえなど（毛布などは主催者で用意します）

その他
◇参加経費は第二日目の中食代ほかとして一人二百円です。

日程などくわしいことは教育委員会の社会教育課か総務企画課文書広報係りあておたずねください。



（写真は例年実施している市内公共施設見学から）

霊柩車が臨時運休

＜定期検査のため7月31日から10日間＞

市の霊柩車が七月三十一日から八月九日までの十日間、定期検査を受けるため運休します。

運休期間中に万一ご不幸があった場合は直接お手配願うことになりますが、次の隣接市町関係業者にそれぞれ協力依頼してありますので、そのさいは最寄りの業者をご利用ください。

なお、市役所市民課でも取り次ぎをいたします。

◇五泉市新町　風間葬儀店　☎〇二五〇四（2）二六〇六
◇亀田町　伊勢屋葬儀店　☎〇二五二（81）三〇〇二
◇白根市魚町　花助造花店　☎〇二五三（72）二六〇九